



ディスプレイ交換後にiPhoneXのFaceIDが機能しない問題を修正する方法

ディスプレイ交換後にiPhoneXのFaceIDが機能しない問題を修正する方法

作成者: Phryne



はじめに

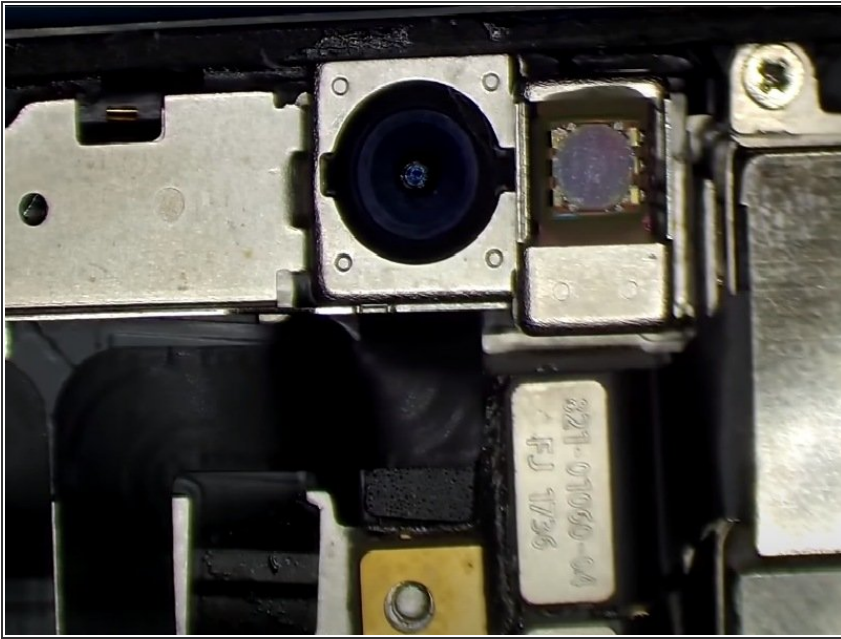
通常、iPhoneXのディスプレイアセンブリを交換してもFaceIDには影響しません。しかしディスプレイアセンブリを交換した後、FaceIDが失敗したという苦情をクライアントから寄せられています。私たちはいくつかの調査を行いました。問題は交換プロセス中の不適切な手順が原因である可能性があり、その結果、フレックスケールやその他のコンポーネントが損傷している可能性がありますと推測されます。

手順 1 — 不具合



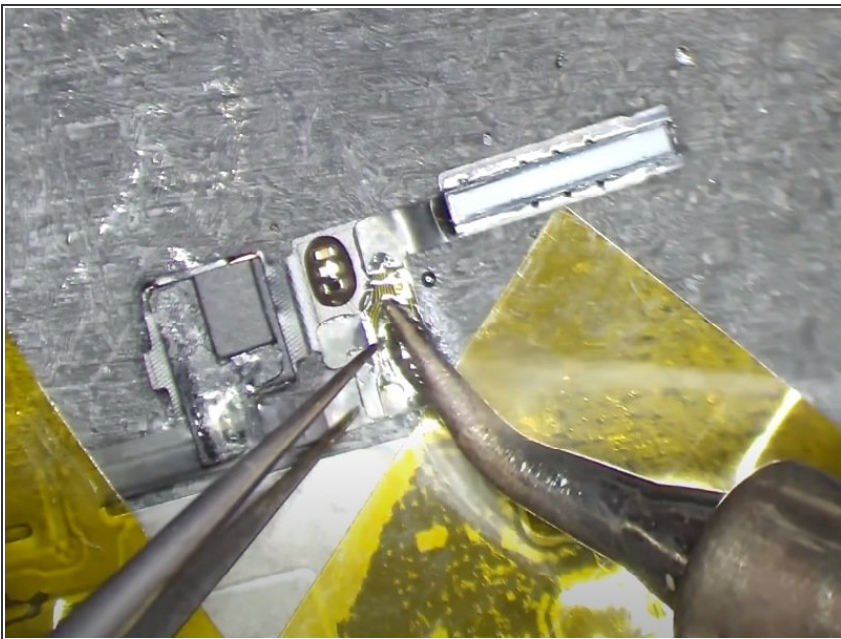
- iPhone Xが、「このiPhoneではFace IDをアクティベートできません」というアラートを表示しています。
- iPhone XでFace IDを設定しようとすると、「Face IDは利用できません。後でFace IDを設定してみてください」というメッセージが出ます。
- さらに、私たちのユーザーからのフィードバックによると、落としたiPhoneのFace IDは使えていたが、ディスプレイアセンブリの交換後は使えなくなったということです。
- Face IDが利用不可なのは、ディスプレイアセンブリを交換した際の不適切な作業のせいかもしれません。

手順 2 — 診断



- 顕微鏡下で、赤外線カメラとドットプロジェクタをチェックします。どこも不具合はありません。
- イヤピースピーカー上の投光イルミネーターモジュールとフロントセンサーアセンブリを見てみましょう。
- 投光イルミネーターモジュールの隣のフレックスケーブルにダメージがあるのがはっきり見て取れます。

手順 3 — 修理



- さて、アセンブリからイヤピースピーカーを分離する必要があります。
- 後で環境光センサーモジュールのフレックスケーブルを取り外します。

手順 4 — 修理



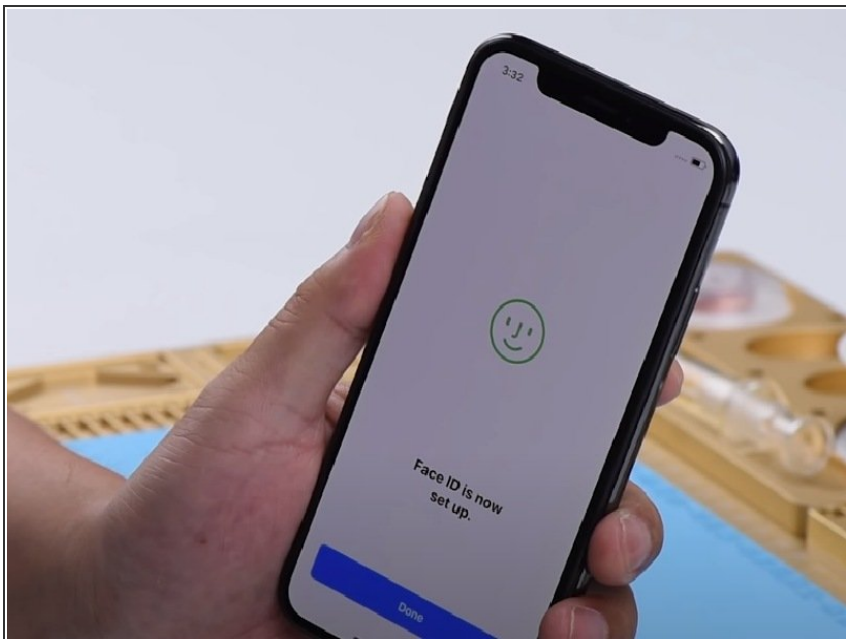
- フレックスケーブルを裏返しにして、もう一度固定します。投光イルミネーターを取り外します。
- 新しいフレックスケーブルを用意します。フラックスペーストを適量接合部に塗り、取り外した投光イルミネーターモジュールを半田付けします。

手順 5 — 修理



- 取り外した環境光センサーモジュールのフレックスケーブルを半田付けします。
- 次にイヤピーススピーカーをフレックスケーブルに半田付けして、ディスプレイアセンブリにインストールする必要があります。あとでネジを使って留めます。

手順 6 — テスト



- 設定 > Face IDとパスコード > Face IDのリセット に移動します。Face IDが無事に設定されます。

Face IDを完全に理解するには、こちらの[Face IDの分解](#)も確認してください。